

平成30年第1回名張市快適環境審議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成30年6月28日（木） 午後2時から4時まで
2. 開催場所 名張市役所2階 庁議室
3. 出席者
委員 朴 恵淑
清水 敏代
男山 倫夫
椿原 礼子
田畑 博
福廣 勝介
宮本 篤
事務局 環境対策室長 海野 隆広
環境対策室 三宅 英伸、藤井 奈保子
4. 欠席者
委員 加藤 進
田中 徹
福田 尚子
5. 内容
 - (1) 会長及び副会長の選任
 - (2) 会長・副会長あいさつ
 - (3) 第三次なばり快適環境プラン達成状況・実施状況報告について
 - (4) 市町における省エネセミナーについて
 - (5) 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）及び名張市 EMS の改定について

（1）会長及び副会長の選任

○事務局

それでは第1回名張市快適環境審議会の方に移らせて頂きます。名張市快適環境審議会規則第4条第1項に基づきまして会長及び副会長の選任をさせていただきます。会長及び副会長は委員の皆様のご選任により定める事としておりますがいかが致しましょうか。

○委員

一任します。

○委員

会長は朴さん。

○事務局

それでは、今、委員様の方から朴様と言う事のお声がありました、それでは朴委員と言う事であれば拍手をもってお願い致します。

○事務局

はい。満場の拍手と言う事で、会長は朴様にお願いさせていただきます。それでは副会長の方なのですがいかが致しましょうか。

○委員

僕から言って良いかな。副会長清水さん。

女の人の感覚で、女の人の感覚をもうひとつ聞いこうと思っている事がひとつと、もうひとつは今のキャッチフレーズ作って頂いて、「人に気くばり、地域に目くばり、地球に心くばり、里まちなばり」これを提案したので、前回の提案した清水さんと言うのが僕の意見です。

○事務局

今、清水様と言うご意見がありましたですが、委員の皆さまいかがでしょうか。

○委員

賛成です。

○事務局

そしたら確認の為、清水様でよろしいと言う方は拍手をお願い致します。

○事務局

はい。満場の拍手と言う事で副会長は清水様にお願いさせていただきます。それでは朴委員には会長、そして清水委員には副会長とそれぞれご就任頂くと言う事でよろしくお願い致します。それではお2人につきましては失礼ですけども指定のお席の方にご移動の方をお願い致します。

はい。それでは名張市快適環境審議会規則第5条第1項に基づきまして、会長が会議の議長となります事からこれより先の議事進行につきましては会長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

2. あいさつ

○会長

よろしく願い致します。では事項書に基づきまして議事進行をさせていただきますがいつもの様にご協力よろしく申し上げます。で、今日の議題は3、4、5、6がその他になっておりますがその前に会長、副会長あいさつと言うのがありまして、ちょっと自己紹介の時に既にお話はさせていただきましたけれども改めまして簡単にちょっとあいさつをさせていただきます。私の後よろしく願い致します。

○副会長

はい。

○会長

先ほど福廣さんの方から私たちはキャッチコピー、これ私、実は環境省にも既にちょっとPRと言うか披露しております。地域の名張と良い所にありながら我々の環境に関する憲法みたいな基本計画には地球も視野に入れてローカルからグローバル、グローバルからローカル、最近流行のグローカルという言葉をもっと先を走っている、そういう様なキャッチコピーで私たちは考えているんですよと言う事を言ってまいりました。そうしたらSDGsと言う横文字がいっぱい並んでいて嫌ではあるんですけども、2015年9月の国連総会でサミットで、まあこれから持続可能な発展をして行く為の17の目標、それが正に本当に環境を広く取って自然環境だけではなくて人間環境、それから海外の色々な友達でつくりとかも含めて文化ももちろんそうですし、そういう全てのものを全部環境に括る事が出来る事なので、一番最後の素晴らしい所、パートナーシップを組んで行くと。既に名張市はもうパートナーシップ組んでおりましてですね。そういう様な部分もこれから名張らしさと言うものをプラス、それを普遍的なものとして世界にどう発信をして行くのか。それと次世代担う子ども達をユネスコを通じて名張はまたユネスコスクールが三重県で一番多い8つもある所なのでありまして、そう言ったものを我々のこの審議会で議論された内容が決まったものを分かりやすく伝えて末永く名張の為に日本の為に世界の為に考えられる人つくっていくのも我々の役割なのかなと思っておりますので、素晴らしい仲間と皆様と一緒にやって行きたいと思えます。またよろしく願い致します。

○副会長

私は三重県の職員でありまして、まあ三重県、県としては大気、水、産業廃棄物等色々な行政環境行政に取り組んでいます。その中で私ここにお邪魔させて頂いているんですけども、その為やったら難しい知識じゃない中ですね、この環境のプラン、名張市さんがこの作られたプランについては、難しいものではなく一人でも多くの住民の方に知って頂いて自分たちも参加出来る、参加しなければいけないって言う身近なものに感じて頂きたいって言う事で思いついたのが、その先ほど福廣さんおっしゃって頂いた通り、「人に気づき、

地域に目くばり」ですね、ちょっとばり、ばり、ばりと韻を含んで、こう名張市の住民の方に浸透しやすい様に、プランの中身は分からへんけども、この心意気思い入れだけはこのキャッチコピーによって、こう自分たちの心の中に刻まれているよって言うぐらい軽いものにキャッチコピーの方したかったんです。その思いも込めて参加させてもらっていますので、まだ何にも出来ませんがよろしくをお願いします。

○会長

お願い致します。ではばりばりやってみましょう。

3. 第三次なばり快適環境プラン達成状況・実施状況報告について

【事務局説明】

○会長

よろしくお願い致します。

○事務局

審議内容につきましては、事前にお配りしたのもございますので一度は目を通して頂いておると思います。資料についてのご意見をお聞かせ頂いて、それに答えをさせて頂く様な形でお願い出来たら良いと考えております。

○会長

ではご意見を頂ける方から行きましょうか。或いはどうしましょうか。概略を説明頂くかどうかでしょうか。

○事務局

全て読ませて頂くとちょっとお時間掛かってしまうので、概略を説明させていただきます。

【事務局説明】

○会長

そしたら一応これ私たちの快適環境プランって言うのは多岐に渡った部分でありまして、また名張市はISO14001は返上したとはいえ、EMS、環境マネジメントシステムを動かしております。だから、ちなみに地球温暖化に関してはどうなのとか、エネルギーに関してそう言うのではどうなのとか、色んな部分もあろうと思うんですけども、一応私たち「人

に気くばり、地域に目くばり、地球に心くばり、里まちなばり」と言う所で環境目標を私たちは1～5まで立てました。で、このA3の横、中の区分とご覧頂いてご存知だと思いますけれども、ちょっとオーソドックスで良いなと私は思っているのは教育とか意識改革に関わるのは一番最後なんですけれども、名張が一番最初に立てている事。で、それから自然が一番最初に出る場合が多いんですが、その柱も生活環境が出てきて3番目に自然との共生。それから4番目が一定にいれば持続可能な社会を作る為の環境負荷の本当に今少ない社会をどうするのと。で、それから安全安心なまちをどう言う風にするのか。これは今まで良くどこの市町でもやってきたものだったんですけれども、名張が非常に面白くて、優先順番、別に1番だから高くて5番だったら低いと言う訳ではないんですけれども、言いたい事、これから名張の20年後100年後を見据えたものとしては一番こう人を育てなきゃいけないように意識改革しましょうねと言う部分を前に前に出したと言うのは非常にこれ環境省等でもすごく評価が高いものがそこにあったんですね。で、そこで良い目標を立てて、それから実際の計画を立てて、一番の所に関係項目の中でずっと12123121とずっとあっているもので、評価をA、Bと言う形になっていてちょっとCがひとつあった様な気がするんですが、Cがあるから駄目とかAが並んでいるから良いとかそういう事ではないと思うんですが、一応行政はなぜかこう言う評価を知っていく事で次のプロジェクトの課題をこう探して展開をすると言う事をしてるんですが、ちょっと私的には事務局の方から説明ひとつ頂きたい。ABCはどう言う基準で、AだBだCなのか。例えば定量的に数値で例えれば100人に啓発する予定だったんですが、20人でしたと言ったら、じゃあDだねとか、そう言うのをやってみて行くのか。例えば100人だなと思ったけど20人でしたが、その「20人がピカピカと光る太陽のような方々で100人以上の活動するんだよと言う、もし何かがあって評価をちょっと変える事が名張では可能なのか。いやいやとりあえず数値でだって言う事なのか、そこをちょっと教えて頂ければ、県にも言えるんじゃないかな。県は完璧に数値なんですよ。例えば再生可能エネルギーだけにあると言うのが、お金が足りなくて出来なかったと言ったら容赦なくDとか、もうCとかそれ以外になるんですけれども、そうじゃないんじゃないのと言う風に思う部分もあるんですが、ここで非常に良い形でA、A、A、ちょっとBとかそういう様なのになってるんですけれども、ちょっと教えて頂きたいなあと思うんですね。

○事務局

事務局から説明させていただきます。6ページを例に取らせて頂きますと2章の項で上げさせているものの中で担当の所が地域経営室、環境対策室、で、環境対策室、環境対策室と言う形で室名が並んでおりますが、ここの各担当の方で数値も含めた総合的な判断でA、B、Cで決めています。

○会長

それぞれの部局がA、B、Cを付けて結果をこっちに。

○事務局

はい。そのA、B、CのAを3点、Bを2点、Cを1点で平均したものが、この1-1-1-1の資料A3のもので総合でAにさせてもらっています。で、こちらについては数値だけではなく総合判断と言う形にさせて頂いておまして、Aが順調に推進している。Bが更に推進が必要である。Cが取り組みが遅れている。その3つ評価で各部署に評価を依頼させて頂いております。

○会長

中にはちょっとごめんね、出来なかったと言う事もあったんですけど。

○事務局

はい。特にCの所ですと環境対策室の方で担当しているものがございます。再生可能エネルギーで、26ページの5-4-2-2-1です。こちらに関しては環境対策室が担当部署になっているのですが、再生可能エネルギーについては色々議論がある中で導入するという段階に関して踏み込んだ施策が取れなかったと言う事でCと言う評価になっております。

○会長

そうですね。ちょっとお金が絡む事でエネルギー庁とかNEDOとかやっぱり今、東日本大震災でエネルギーで原子力どうするのと言う大きな課題がなっている中で再生可能エネルギーに、一応エネルギー全体の長期的なビジョンでやるんだと言っている。欧米並みに行くんだって言っているにも関わらず、山村地がほとんど地方まで足してやれない様な状況だと思うんで、これは名張市の再生可能エネルギーにかからなかったのが足りないと言う事ではなく、色々な外部的な要因が全然出来ていないから厳しかったんじゃないかなと言う気もするんですね。

○委員

ちょっと事務的な話で申し訳ないですが、その今のABC評価と言うのは、このプランの32ページに具体的な指標一覧と言うものがございますが、これとどう連携をされてるんですか。現状値があって目標値があって、で、2017年にはここまで来ましたよと言う事が書いてるんですね。この辺は。

○事務局

こちらにつきましては委員様には郵送で送らせて頂きました快適環境プランのこちらの本冊の方にのせさせて頂いているのですけれども、これの各目標の下に具体的な指標と言う

のがありまして、ここの各1・1・1でしたら1・1・1に相当する指標と言うのがございます。そちらが32ページの表でございます。

○委員

これを見ると見にくいのでこっちの方が分かりやすいかなと思うんです。この表も分かりにくい。これいちいち見なあかん。めくらなあかん。これだと数字だけばつと書いてあるから、すぐ分かりますよね。これ見ながら何を言いたいかと言うと、ABCと言う話が頑張ろう、まあこれからもう少し頑張ろう、もっと頑張ろうと言うABCなんですよね。ただ、これがこの目標値と中間値と今出来てる現状値から目標値があつてその間にどれだけ出来たかと言う事を表してる訳ですよ。そういう表ではないんですか。これ。

○事務局

数値につきましては策定当初、目標数値と言う形で審議会の中でも提示させて頂いておりましたが、審議会の中で、目標ではなく具体的な施策がどの様に実行に移されているかと言う事の指標「具体的な指標」と言う形に変えさせて頂いています。そのため、今回これの数値だけを見てABCの判断と言うのはさせて頂かない様にはさせて頂いています。

○会長

要するに、ちょっと私の方からちょっと補足をさせて頂きますと、数値は数値としてちゃんとださせて頂いております。で、これだけの施策を展開して行く中で数値を超えた実績が出てくる所もあれば、そうじゃない所がある。で、それはこのさっきおっしゃられた32ページに数値出てる様な根拠に基づくんですけども、ここで相対的な評価をプラス、実態的な評価をかみあわさった形でABCと言う様な感じにしていると部分があつて、若干こう数値そのものをもって何%達成出来たAだBだCだつて言う様な事にはしていないと言う事だから、若干悪く言えばアバウトじゃないのと思われたらそういう風になりますし、じゃあ冷静的な部分入れて総合的な判断で考えたんですよと言う事のトライアルだとすれば、それはそれで説明はつくのかなと言う気もするんですが。だからこの表をなしで適当にいやあ、よくやったんじゃないとかそういう事になったらこれがちょっと困ったんですけども、そうじゃないと言う事の説明責任果たして資料としては、これを参考にして頂きたいなと思っています。

○委員

すみません。関連して、例えばで行きますとこの32ページの表の上から3つ目の学校での環境教育の推進についてで、これなんかだったら2017年度はどうであったのかつて言うのが、データとして上がってきて空欄になっている辺りがちょっと気になりました。どの様な手段で調査をしてどの様な形であつて言うか、ここ空欄なのは今現場から言うと多分各

校やっているとと思うので、やってない学校は恐らくないであろうと思う中で、各校に一覧で空欄がちょっとついたとなる現場としては思わせてもらったんです。まあこちら見て、その前作ったプランの中に、いったん現状値と中間値と目標値しかのってないので、ここの部分はどこまで達成してるかって言う事なので、だとは思いますが。

○事務局

すみません。こちらの空欄につきまして、まだちょっと集計のデータが揃ってないものなので、お揃い次第またお示しさせていただきます。

○会長

今、平成30年、大体行政の速報じゃなければ1年1年ずれてデータが出てると言う事は私は最近ビックデータとかがあるから回収はされると思うんですけども、結構一年半ぐらい遅れるので恐らくデータ今集まって整理してる所じゃないかなと言う気もしますね。でもやっぱりそう言う指摘は出ますねえ。データがないのにどうやってAですかBですかCですかと言う。そう言う所も含めたらどう言う風に考えるかと課題としてやって行きたいと思えますね。そう言った時には、若干信頼度落ちるかもしれないけど、速報値に基づいて評価しましたとか、そう言うコミットがあっても良いかもしれませんね。

○委員

僕ちょっと良いですか。決して嫌味な言い方するのではないんでちょっと誤解なく聞いて欲しいです。僕はですね、もちろんデータでは評価出来ない部分もあるし定性的な評価のものもあるので、それは委員ですけど、このABCとか言うのは市役所のご担当の中での自己評価やと言う風に僕は理解しております、それを見てですね、もっとBって書いてあるけどもっと評価して良いと言うのはあんまり少ないねけどな。このAを評価してるって言うのはあかんで言う風なのを、今日それを言うんかなと。まあ今日はその会議かなと言うぐらいの感じで。

○会長

その話はその他でちょっとオフレコでざっくりばらんに話をする時にして頂きます。さっき言った様な事があるのは、例えばこう横並びの様でちょっと色々、うちちょっと皆さまちょっとフォローするのではないんですが、うちの大学もそうなんですが、よその部署からデータをお願いしますと言う立場になるんですよ。で、必ずいつまでに出せと言うEMSがISO14001とか生きている時には内部監査が何やら何やらって全部出せと言うの言えるんですが、ちょっと多岐にわたった場合、お願いしますと言う時に、若干ちょっとこう強く、ちょっとそう言うのがあるんですよ。

○委員

そうなんです。よそ言っただけで言う訳ないけど、ここでやったら言うて良いやろ。ここで言わへんかったらどこで言うんやっちゅう事になるからそんな風に。

○会長

分かります。だから審議会大事なんです。その意見として出して。

○委員

ほんで、決して追及すると言う訳ではなくてこんな話もあるのちやいますかとかね。

○会長

そうです。

○委員

それから例えば、ここに書かれてる言葉で、さっき椿原先生おっしゃったやつでもそうなんですけど、何か地域づくり組織を行う環境に関わる事業と言う風な表現されてたりするんですけども、これは具体にはどんな事って言うのを聞きたいなと言うのは幾つかあるんです。要するにです。まあざっくばらんに言うのは、やっぱり自分もざっくばらんに言いますからあれなんですけども。

○会長

これは私が言うべきじゃないかもしれないけど、例えば名張市の最高上位にある総合計画が30年で終わるんで、また今年作るのか既に作ってるのかちょっと分からないんですけども、ここに多岐に渡った色んな分野があるじゃないですか。そこで当然環境あるんですけども、そこに全部網羅出来るものと、環境基本計画がそこに合った形で同時進行化全部して上手く行けば良いんだけど、それがずれた時には正直に言って我々が先走ってしている部分も正直にあって、ここにカバーしきれないものなどがあがった時に滝に渡る所の職員がどこを最優先でこうデータ提供するなり調べるなりするかと言ったら、若干そう言うものはゼロではないと言うのは今まで色んな行政と関わる経験からありました。だから恐らくその他の所でもちょっと今日も私はしようと思ってたのが、これが今年で第1次、第2次出来るのかちょっと分からないんですが、どれだけそう言う所の部分にアンケートなり市民の意見も伺いながら、それぞれの部署のまあこうキモイロの色んなものがきちっと入るのかと言う所もうひとつ理解、今回このA B C Dと言うのは正直に言おうと思えば、何だこれはと言う様になる時もゼロではないんですけども、そう言う部分もちょっと今後どう言う様にやって行くのかと言う所も含めてその他でちょっと意見を言いたいなと言う風に思っているんですね。つまりどうやってこれがAですかBですか言うのは正直に言えな

いのもあります。その担当者全部呼んで説明したいわって言わない限り多分、そう言うのちよっとあるのではないか。

○委員

ごめんなさい。もういっぺん言いますとね、僕なんでAやねんBやねんって言う事を聞きたいと言う事ではなくて、あんまりそれ気にしてないです。例えば、一番最初は市民参画って言うのがあって、ふたつ目に環境教育って言うのがあって、まあ前もいろいろさせてもらってこう一任してるんですけども、これひょっとしたらひとつの方が良いかなあなんて今まさしく思ったりするんですが、この項目についてね、例えば僕がメモして感じてきてる事を事前に読んで、事前になって今朝からやけどね、読んで書いてきた話をこんなんはいかがでしょうかって言うのを発言させてもらおうと僕としては進めやすいな。

○会長

なるほど。

○委員

これ細かいの全部読んでいくって言うのはもちろん時間あれやし、ほんでこの一覧表でも良いか分からんねけど、これに関して、2ページ3ページの方が良いねけども、どっちでも良いねけども、これちょっとどう感じますかみたいな事を言わせて。川関係の人なんで、かわきりは僕が。

○会長

はい。お願い致します。

○委員

例えばね、市民参画と環境教育のそこひとつ目言ってるんですけど、これは僕は市民参画の大きくなっても良いなあと思ってるんです。行政でなんぼ頑張ってもらって行政1人では出来へんと言う環境、課題。これはAなんですけれど、例えばね、お勉強会の話いっぱいあるんですけど、再生エネルギーの話も目標であるんですけど、名張にね、素晴らしいタケオケイズウって男がいてるんですよ。小水力で、日本のトップランナー、世界まで喋りに行ってる男がいる。僕の友達ですけども、この人がね、名張の人材登録バンクに登録して5年か10年で1回も言うてこやへんかったって言うて腹立ててるんですよ。もうそんなんやったらやめてよって言うて。

○会長

どう言う事。人材バンクに登録にしてるんだけど。

○委員

いっぺんも喋ってくれとこう言うてきた事もないしって素晴らしい話をしてました。この間もこの人JICAのOBなんですけど、JICAの研修会で駅前ナバリエでやった。これ今日記事持ってますけど毎日新聞の記事持ってます。ものすごく面白い話、良い話してくれるんです。

○会長

じゃあ私たちがセミナーで呼びましょうか。早速やりましょうか。

○委員

そんな人が地元でいて、水力市民参画に非常に関わる事やと思いますけども、こんな話をもっと呼んだら良いのに何で呼ばんねんって言ってるのと違いますよ。まあ裏言えばそうなんやけども。

○会長

参加者にもよりましょう。

○委員

こんなセミナーしたらどうと言う風な事を思った。もうちょっと言いますね。僕、川の会・名張で今宮本君に褒めてもらったんですけど、花筏が28回目、28年目なんです。これも新聞どンドンと書いてくれてます。市民の方にちょっとでも手伝ってと言う事をこっちは発信してんねけど、はっきりとほんど参加してくれる。新しく、してくれる人はやっぱりいますけど、ほとんどいないんですねえ。で、これはまあうちの奥さんで言わすとあんた変人やから来やへんねんって言ってますけど、例えば市がちょっとバックアップして広報してくれるともっと来てくれる人多いのかなあ。

○会長

ちょうどどっちになるけれども市も今環境、省エネに関する環境セミナーしましょうかと言うそう言うのを皆さんの資料にも載ってると思うんで、その時にちょっともう早速始めましょう。

○委員

はい。ほんでどっちで言うたら良いかなと思ったんですけど、課題別で言うたらね。

○会長

もういつでもいつでもおっしゃって下さい。

○委員

ほんでその例えば花筏の事なんかでも、ちょっとバックアップしてもらえたら、市の職員が来てくれと言う事ではないですよ。あっ、1人、林君が、水道の林君は当初からのメンバーなんで知ってます。

○会長

ありがたい。

○委員

ちょっと応援宣伝してもらえると、楽やのになあと言う風な事を思っ

○会長

じゃあもう早速次の今日の事項書にもセミナーやりましょうって言うかんじありますので、何らかの形で良い事をちょっと考えてみましょうか。

○委員

はい。で、ひとつ目そんな事です。ふたつ目の最初の方もちょっと言わせて下さい。

○会長はい。どうぞ。

○委員

水環境の保全ですけどね、安全な水の供給と言う様な話があって、これ見た目の水質は抜群になりましたねえ。もう名張の街中やなせ水路の水質は、この15年ほどでも抜群に綺麗になりました。ただね、僕、ここにも何度かお話をさせて頂いたんですけど、川掃除の時に完全にせきを止めて一週間ほどするんです。しかも僕が大反対運動をして潰されましたけども、水路の底をコンクリート張りされてるんで、水の底のでこぼこがないんです。プールみたいな。それでせきのせいどにせきを落としてしまうとせっかく戻ってきた魚がですね、水干した時に1センチの水もなくなって、白い腹を見せてごろごろ死んでるんです。で、僕、環境維持用水として1センチでも2センチでも流してくれる手はないかって言うた。で、ご担当の名前、今、すぐ思い出しませんけど、何べんか言いに行かせてもらったけど、それはお金がかかるんやそんな事が出来るんや。で、他から最近名張にいっぱい見に来てくれるんですけど、名張に来て白い腹、魚ころころ上向けて死んでたら、これおもてなしの街かと思うなあって言う。見た目の水質ものすごく良くなってるのに。

○事務局

やなせ水路の掃除の時ですね。

○会長

一週間ぐらいですか。

○委員

年にね、その田植えの時期とそれ、河川清掃の時期と何回かあると思います。

○委員

3月ぐらいに浚渫。

○委員

はい。浚渫の時。隣の上野の市長は名張は良いなあ、川のある町でうらやましいって言うてるその町でマイナス見せてる様な事って言うのは良いもんを逆に見せてる訳ですね。残念やなあって言う風に思ってると思う。朴先生どうしましょう。もう言いかけ全部言うてしまう。

○会長

ええ、もう、おっしゃって下さい。もうこれ今日この部分大事な部分なと思うんです。

○委員

それからその次の里山の話があるんですけども、これ僕の持論なんですけども、里山活動をみんな全国の、名張でも赤目もボランティアでって言うてるんですけどボランティアは災害の時のボランティアは必要やけど、緊急時にボランティアは良いけど、里山をきちっと保護して僕は本経済に入れやなあかん。昔林業をやった様に里山を経営の経済で成り立つ仕事にせんと、若い衆、学生集めてきてボランティアで里山やるんやって言うのはこれは本当の経済ではない訳です。それ経済で成り立たんからそうしてる。僕これはもう山に対して馬鹿にしてると思って自分の環境、よくよく言うんですけど、女の人が今働いてる人多いねけど、今うちのお袋やらだった時代は主婦労働って言うのは経済還付されてなかったですよ。シャドーワークやったんですよ。それと同じ様に里山で一生懸命ボランティアしてるのはゼロ経済なん。こんな話はない。里山を名張から表の経済としてスタートさせる様になったら日本のトップランナーになるなあとは僕は思ってるんですけど、これ具体的に何をしたら良かって言うのはみんな考えやなあかんねけどもそんな風に思ってます。それに関連してですけど、名張川の今日、木津上の所長おらんけど、名張川の川のつつみの竹林、非常にこの間から国の管理の所ものすごい綺麗になったんやけど、後は邸内民地やっちゅ

うて川が国のものになった河川法があるわ何年か、時以前から民地で持ってた人の林は手に入れんっちゃうてもう竹林めっちゃ汚いんですよね。防災上も危ないし、これも里山管理の内のひとつとしてきちっと我々名張地区のまちづくり協議会でやろうって言うたら、あんなんしんどいだけで人の持ち物やしやめとこうとかね、ちょっとやっぱりあれも花の散布してもらったら名張に来てもらってこんな汚い町かって思われたらねえと言う風な事を考えております。それから小水力関連で言いますと、今、おだやかな革命と言う映画来ます。この映画も是非上映会してもらいたい。小水力ソーラー、ソーラーシェアリング、それから会津電力ってありますね。それから飯館村の飯館電力、それから岡山真庭のバイオエネルギー、それから石徹白のそれこそタケオさんなんかも良く知ってる岐阜石徹白の小水力発電での町おこし、これずらっと並べた映画パンフレット持って来てますけども、これなんか名張でいっぺんやってもらってタケオさんそれ良い解釈してもらったりしたらもう最高の映画会になるのになあと言う風に思っております。一応、さっきのね、小さい魚死ぬやつ、僕らが名張ではいじゃこって言うてるねけど、はいじゃこ応援団って言うのを何人かでやり出してたんですけど、まあ結局あかんと言われたんでもうはいじゃこ応援団のペーパーも僕が書いてるんですけど。それから、最後なんですけど、町中の空き家問題やってくれてるの市役所取り組みものすべりと言う評価してるんですけども、もうひとつですね、僕は団地の空き家問題、ここら入って建ってるだったあかんなあ。もう名張で一番人気あった桔梗が丘ですらばらばらばらばら空きました。

○会長

聞きました。それは。

○委員

空地は草ぼうぼうになって防犯上も景色も悪い。僕も団地屋ですけど団地のしまい方、おしまいの仕方、これが私権制限とかねえ、所有権関わってくるんで簡単には出来へんか分からんけど、これやっで行かんと名張だけやなしに日本の郊外都市全てペケになるやろうと僕は思ってます。空き家と団地の空き家、町中の空き家と団地の空き家、これが一番僕たくさんきょうぐうを一番前に置いてあるって言うのはすごいな。僕は本当は景観が一番前に置いて欲しい。全ての景色は暮らしが、そこに住んでる人の暮らしが景色を作る。川を大事に思ってる人は川の綺麗な町に出来ますねえ。そんなところから言うんですけど、これは市役所職員さんの昔の職員さんに対する批判ですけども、藤堂屋敷の横にね、あれ何とか言ういったん資料館になったりして、今売るとか売らんとか言うてるどこあるでしょ。藤堂屋敷の横にコンクリートの陸屋根のもの建てるか、と言う様な話。それからまだ最近ではこの間、隣の青山町の愛農学園の建築のものすごい建築の学会の建築家たちの帰り道、車に建築家たちが何人か乗ってる。図らずも武道館を見てあのみっともないの福廣さん何よって言う。あのみっともないの何よ。あの新しいのって言うて、あの景色に全然はまらへん。こう言う事を藤

堂屋敷の横から今までで、どっかの文章に市民と職員が同時に研修を受ける、ものすごい良いなと思う。職員さんだけやなしに市民だけ一緒に景観問題の研修と一緒に職員さんと受けて、景観は何やと言うのをこっちはトンコウ山に、ここによく見えますけど、鉄塔が出来た時は僕、胸が痛みましたけどねえ。と言う様なやっぱり景色の問題はちょっと真剣に考えて頂きたい。これね、汚い景色見慣れるとね、目が慣れるんでね、何も持たん様になるんですよ。これ最悪の欠陥教育ですね。言いかけたらまだあるねんけど一応ここまで。

○会長

ありがとうございます。非常にこう多様な活動していらっしゃるからこそ、気が付いて、名張を愛してるからこそ色々な事が懸念されていると思ってますね。で、ひとつ私たちこれからその他の所で一応提案をしたいなと思っている部分であるんですけども、まあ縦割りだ何割りだと言う時代は終わってるので、例えば空き家は何々からやるんだよとか。何は何がやるんだよと言う風な形では、まあそれを否定するのではないんですけども、我々幅広く環境を考える立場から考えた時に促したり色んな形でやってるものは充分出来ると思いますので、頑張っってやって行きたいなあと言う風に思っています。で、例えば景観とかは景観法とかで幾ら規制したけれども再生可能エネルギーで風力だ太陽光だ、もう何が何でもと言う風に言われたとしても景観法がまず最優先なので、そういう様な部分とか考えてみるとまあどっちが先だと言う風になるかもしれないけれども、やはり賢く知恵を絞ってやって行くと言う部分に置いては環境は大事な所で守ると言うしゅく的な所ではなくて積極的な町づくりのキーワードがと言う様な感じでやって行くと、恐らく亀井市長も色々な事をこう分かっている方なので、これは何かこれは何かこれは何かと言う中外的な事ではなく、まあ横並びでやって行きましょうって言う部分が促せる様な、そう言った様なセミナーと言う名前が良いのかフォーラムが良いのか考える会でも良いんで、ちょっとそういう所をちょっと考えていくと言うのがひとつ大きなポイントになるのかなって気がしました。で、今すでに1から3から4、5に近いような感じまで来てはいるんですけども、まずここA B C Dと言う所の部分に関しては、こっちは足されたものにこれでDじゃない、これがCじゃない、これはAじゃないと言う風に言うのはこちらから見ると、ちょっと低価値化的な所、それから横並びに考えた時に色々なものがあるのかなと思っておりまして、この1の所の部分、それからその後5の所でこれから名張市のEMSのこう考え方と改定によってどう言う様に評価するのか、その関わるものでありますので、4の市町における省エネセミナーちょっと後にして頂いて、ちょっと5の所を先にちょっと行きまして、4に行つて5、6ですね、って言う風な感じで、若干順番は変えたいんですがよろしいでしょうかね。ありがとうございます。そうしたら5ですね、よろしくお願い致します。

5. 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）及び名張市EMSの改定について

○会長

これに関してもちょっと例えば横の名張市のEMS、そういう所の部分とそれから名張市環境マネジメントシステムに関わる部分など、ちょっと資料が忘れていたと思いますが、ここで大事だなと思われる部分、ちょっと説明をちょっと頂いて意見を言って頂いたらどうでしょうか。

【事務局説明】

○会長

これはよろしいです。この皆さんの手元にも、これの説明、これはよろしいですかね。で、それに基づいて平成22年9月になっていて年1%以上のエネルギー削減の経度に求められていて、それが今達成出来ていると、結果的なマイナス6%の二酸化炭素削減になったと言う1回でよろしいでしょうかね。あつ、今、平成28年度の実績があつて、34年度が1万3千、千3百8ポイントで、29、30、33まだまだある中ほとんど1万3、1万4千件近いものの中から8百トンぐらいしか、それ減らせばまあ問題はなく出来るから、なるほどね。1%ずつで積算をすると6%ぐらいになるのか。うん。そういう事だと言う形なるんですけれども、ここでちょっと私の方でこのエネルギー、ちょっとだけ待って頂けますかと言う事がひとつあります。で、何もしないで待っていると言う事ではなくってですね。今、国が2030年までに2013年度の二酸化炭素の排出量に比べると26%減らすと言うのを、2015年のパリ協定を結ぶ時に安倍さん元気良く話をしてました。で、2050年になると80%減らすんだぞ、これ本当かなと言う様な部分もあったんですけど、まあ一応打診的なチャレンジ目標出してるのはありがたい事で、それで2030年まで26%減らす中では非常に厳しいのは民生部門を40%、今より20%占める所の部分を40%にすると言うのは、私達はこれから後半も食を1.5食、いきものも1/2ずつ水も1/2ずつ、エネルギーも1/2ずつそれで行きますかと言う、極端に言えばそこまでの事をやって目標が達成出来るかもねって言う風になるんですが、既に電子力がどうなるの、ああなのと言う部分と再生可能エネルギーが思ったより固定価格で価格40円とか売れた時にはああだったけど、まあ戻ったりとか何とかそれぞれ景観の問題、色んなのもあつて、中々厳しい中で。あとここからもう5年間余裕あげるからやりなさいよと言う事なんで、今どうしようかな〜ってやってる。正にそんな通りです。そういう動向なんですけど、三重県、今様子を見ながら、ちょっと三重県たまっていっちゃ駄目でしょと言う印象でも流して、ちょっと渦中になっておまして、三重県はですね、不思議な事に正常だとかそういう企業が占める、事業者が占める割合が6割にもなるんですよ。で、国は40%なのに三重県は60%。じゃあ不利かと言ったらプラスなんです。まあ都市が良いか悪いか1点にしてシャープ、ホンダ良いか悪いかは別にして、まあクリーンなファクトリー、もう省エネへの取組みであれ、で、ガ

ンガン減らしているんですね。むしろ民生部門がぐわっと増えているものになるぐらいですから、まあこれはちょっとオフレコなんですけど何とかかなるんですよ。でも何とかならなくては駄目なんでどう言う風にしていくのかと言う事を、今、7月の中旬に第2回目かな。で、また何が言いたいかと言うと名張は、これはちょっと良く見ていく地域かなと思います。ここで新たなエネルギー目標を決めたって国と県とやっている所に市がちょっと上積みをする、その部分を30%とか29%持つていけるので、若干ちょっと余裕がある中でこれだけはやって行く事が良いかな。1%減らすんだと言う事だけは何とか守ってやって行きつつ、プラスアルファもうダイナミックにが一っと変わると言う様なものが何かあるんだろうと言う事を見る事だと思っているので、正直にこの地球温暖化の二酸化炭素に関してはちょっと分からなかったが多過ぎるので、ちょっと様子を見ながら1%削減だけは何とか守っていきませんって言う様な事が本音かなって感じがちょっとしました。で、もうひとつのEMS、本当に名張良くやっています。うちの三重大学もISO14001やっているんですがお金掛けてないんですよ。自力でやっています。で、あれ結構お金掛かるし、結構エネルギーに無駄遣い多いんですよ。人間はもう本当に全部記録残せって言うんだけど、我々は今はペーパーレスと言って、こうペーパーじゃないですか。で、もちろんこっちはちょっとペーパーでやるけれども、そこで万が一な何かあった時どうするんだと言って、むしろ紙ベースと電子媒体で保管するんですよ。今の時代に私は非常にこう不安、不満が多い所でありまして、そろそろ自主宣言に変えようかなと言う風に思う所なんですけど、名張市は既にISO14001は返しましたよね。

○事務局

はい。

○会長

で、自主的なものやっているので、もし体に合わないなら思いきりやめても良いですよ。で、体に合うものに切り替えて切り替えて切り替えて入れると言う事なので、ただ環境でありながら各部署にお願いしますと言いながらもデータが頂けるメリットはあります。だからそこをどう言う風にしてAだBだCだって言う風にするのかどうかって言うのは別にして、こう言った様なもののマネジメントシステムどうまわっているのかのリーダーシップ取れると言う立場は持つて行く。けどあんまりここに例えば管理が1%減りませんでした、もう何が水が増えました、何がどうなりましたって言う様な事にあんまりひとつひとつに喜んだり悲しんだりする必要がなく、理由が分かれば良いですよ。増えたら何で増えたか。減ったら何で減ったのか。横で並んでいるんだったら何でそうなのか。そう言った様な位置づけが分かればEMSとしては立派な実績になるんですね。むしろその実績を積み重ねて行って、これ審議会とかにその他でも結構ですので、こう言うデータが集まりましたんでどうぞって言う感じでオープン出来る事はオープンして頂きたい。で、戦略的に市が自らの選

付会議でしか足せない様なものだったら我々の審議会に足さなくて良いんですけども、オープンして良い様なデータであればどんどん出して頂いて、みんな考えて下さる方ばかりなので、それぞれの分野で提案が出来る様にして行く、そういう風なEMS使わないとこれ絵に描いた餅で、これ数値ばかり1人で走って行って役に立たないんですよ。で、それを自分に合う様なものに変えて行く、そういう様な感じで使うんで、要はここにありがたい事に省資源、省エネは色々な環境更新色々な所では本当に良い事わーっと書いてらっしゃるので、これを敢えてやめましたって必要はない。かと言ってこれにもう何が何でも全ての仕事全部放り投げてここに関わるんだって必要でもない。使いこなせないものは変えれば良いと言う感じでやって行きたいと思っております。で、そこです、これから4と6が恐らく皆さんがおっしゃられる何かみんながちょっとこうお顔見ながら、互い互いに色々な課題と成果足し合って、これはどう言う風にしてやって行くのかと言う、何かの機会があれば、と良い先生がいるんだったら講演会も含めてやって行く。これをたまたまなんです、今、市から市町における省エネセミナー開催についてと言うA4サイズ頂いておりますので、ちょっとこの狙いが今我々が考えてるものびったり合わないんだと言っても、こう言う事どう言う風にして行くのかと言う事、良い提案が出来たとなってるので、説明頂いて、そこに色々な意見を入れて名張方式での省エネセミナーになっているかなと思うんで、お願い致します。いいのあったら、いっても良いと思いますし、こう色々さっき色々な提案がありました、これはどう言う誰をターゲットにどう言う目的でいつ頃どう言う様にしようとするものなんでしょうかね。

○事務局

こちらではですね、三重県とも協力していかなければならないとは思いますが、省エネに関するセミナーやイベントを実施すると言う事で考えております。実施対象、実施の規模、それから講師等につきましては、県とも相談をしていきたいと考えております。市といたしましては地域のニーズに沿った内容と実施、内容で実施したいと考えておりますが、この度委員の皆様、色々な分野での方が寄って頂いておりますので皆様から先ほども福廣委員さんからもひとつ提案を頂いておりますし、こう言う提案を頂けたらと考えております。

○会長

で、これはちょっと基本的な所からちょっと教えて下さい。お金は掛けず。あのどう言う事かと言うと最初何とか何とかの自治会とかじゃなく、地域近いとか小っちゃい所まわるのが良いとか言う、どう言う風な。

○事務局

そうですね。お金に関しては一応こちら県の方の事業でありますので、講師代金及び講師の方の交通費は県の方が出して頂く事になります。講師の方の講師料と交通費は出して頂け

るんですけども、施設等は名張市が準備するため、環境対策室としての予算的なものもあるので場所は出来たら市役所の大会議室であったりとか小学校の体育館であったりとか、そういう場所でさせて頂くのが私どもとしてはありがたい所ではございます。

○会長

と言う事はそんなに人数は多くないですか。集まる方は。

○事務局

人数に関してはこれから県と調整させて頂くので少数になるのか150人200人になるのかって言うのは、そのテーマに沿ってさせて頂けたらと考えております。

○事務局

先ほど福廣委員さんからも話の出ましたその景観に合わへのちゃうかと言う施設いきいきですね、武道館の所にも、あそこでイスだけでしたら250ぐらい入って頂ける所も。

○会長

使用料もタダですか。

○事務局

市と県でするのでと言う事で申請を出せば免除頂く事も可能です。

○会長

例えばエアコンとか使っても。それも全部。ならばちょっと皆さんの意見を聞きましょうね。もちろん県が用意するメニューがあります。色々な。で、立派な先生もいらっしゃるけれども、うちは人のふんどしで名張が主催を使う戦略立たないと使われたただだと駄目じゃないですか。県庁は実績がほしいから色々な所で省エネのセミナーありましたよって多分国からのお金ももらうでしょうから、そういう所だけではなくうちの要求。うちはこう言うターゲットでこう言う時にこう言う様にしたいんだと言うのもちょっと話の中に出して行くのが良いんじゃないかなと言う風に思っているんですね。で、まあ一応、ただ6月の環境月間とか、まあだったら何でも良かったかもしれないけど、今からだったら秋とか何とかなった時には、例えば7月だったら海の日、海の日だ、山の日だ、なんちゃら日だと言う事なんです。それもちょうと今の物理的に無理ですし、で、行くんだったら秋頃になるかと言う風になった時に、まあじゃあ要するに省エネは目から鱗、それは良いんですが、頑張ったら例えば太陽光パネル付けるんだったら100万あげますよと言う様な事ではないじゃないですか。で、そう言うのではなく変えましょうもうしましょうと言う事で、教育的な事だから学校に行っても良いですし、アウトリーチとして一般の人の子どもみんな来る様に土

曜日とか日曜日とか何かにしても良いですし、色んなのはこれから考える事だと思うんですが、ここに例が上がっているテーマの例と言うのは、まあていかんそう、LED、エコドライブ、太陽光、電気自動車などとかそういった様なものが揃っているんですが、これは県として公費がいると言う事なんです。こう言うテーマなら。

○事務局

そうですね。講師の方につきましては、県へ確認したところ、市の方でこの方が良いと指定しても良いとのことなので、講師の方につきましては県も探して頂きますし、市の方でも探す事は可能です。

○会長

なるほど。で、ここに例えばの例なんだけれども、それプラスまあ例えば景観を考えたエネルギーの何が考えた例、まあ省水力が地球を救うとか例えは何でも良いけど、そう言う形。で、例えば講師の先生は後で来てても良いけれども前の前段でちょっと映画をちょっとまあ今世界の環境はこうなってあんなったと言う事を30分とかパーッとみる様な事があっても良いですし、それは出者が打ち出して良いんですね。

○事務局

ちょっと映画に関してはちょっと県の方に確認しないと何とも言えないんですけども。

○会長

だって関係がないじゃないですか。県は。講師の先生が30分なら1時間なら1時間、トータルの中で何分喋って下さいと言う事なっていて我々が第1部、第2部でちょっと映画見て何とかしましょうと言う事があって、第2部で講師の先生聞きましょうと言う事で良いし、子ども達がうちこんな活動やりましたと言って発表する場があっても良いですし、これは2時間なら2時間をうちがある程度出ちやいまして、その内1時間を講師によろしくとか、それでも大丈夫じゃないですか。

○事務局

それでは出来ると思います。

○会長

で、大体子どもと大人で2時間は持つんじゃないですか。例えば1時とか1時半に始まって3時とか3時半に終わるんだとしたら、大抵2時間は何とか持つ様な気がするんで。どうですか、先生。

○委員

まあその体調の、子ども達の学年とかにもよりますけれども、内容とかにもよりますがそれは。

○会長

例え50分何とかして10分休憩。

○委員

そうですね。

○会長

それとまた50分とまああとってこう2時間とか。それは何とかならんのでしょうか。

○委員

小学校でしたら45分で5分休憩の授業の時間割になってますから。

○会長

だったら50分、10分、50分、10分。

○委員

いけると思います。中身による。子ども達が興味を持てれば。

○会長

今、環境省は微妙な事作ってちょっと私気に入らないんだけど、漫画。漫画が気に入らないんじゃないで意味が分からない漫画なんです。クール、クールチョイス、ちょっと漫画見て、で、何か女の子が悪いと言う意味じゃなく、意味が分からない女の子いっぱい入れて、こうちょっと夏なのに、この私も悪いけれども長袖着る女の子と半袖着る女の子がこう何かファッションショーみたいになってる。並んでる。何だろうこれはと言う風に思ったら、要するに涼しい洋服を来て夏過ごしましょうと言う意図らしいんだけど、その漫画がそれは分かんない。お婆さんのセンスでは。例え何かわーっとこの後漫画はい見たらわーっとつくってこれ何だろうと言う風にちょっと見て行って頂きたいんですが、何で漫画なんですかって言ったら、今、日本のアニメは世界的に見えたから若い人達の心掴むには偉い人が喋ったらみんな寝るんです。けど訳分からない映画を見せると、こうアニメ見せるとみんな見るんです。私は逆、何でこの漫画何を意味してるんだと思うんですが、そう言う風に映画と言うか漫画と言うかそう言った様なものを子ども達の心掴むらしいよ。意味が分からないです。これちょっと環境省ちょっと入ってみて、クールチョイス、意図が分からない

です。本当に。

○事務局

本当にこのテーマは例示させて頂いただけなので、全く違うテーマでもさせて頂けるかとは思いますが。セミナーと言う形をとらないでもまた体験会みたいな形でさせて頂くのも、県と協議しながらになりますけれども出来るとは思っています。

○会長

うん。だから私はセミナーって言うより、名張市の環境フェアやってるんだらうと思うんですが、ちょっとこっちおこなってるじゃないですか。三重県。年に1回メッセウィングと言う所で12月の今年の16日日曜日かな。朝10時から夕方4時までやってるんですけども、8千人とか来るんですよ。何しに来るかと言う事なんですけど、ここからはちょっとあれかもしれないけれども温暖化、12月温暖化月間で防止月間で、省エネ、低炭素何でも良いんで、もう未来の未来車が車が来たり何とか来てる、もうとにかく来るんですけども、一番5千人ぐらいから8千人ぐらいにわーっと増えてるのは、ちょっと良いか悪いか分からないけど食品ロスゼロ。これが温暖化に繋がるかどうかと思うかもしれません。これは実はものすごくあります。日本は全部捨てる。賞味期限過ぎると全部捨てちゃったりするじゃないですか。それでガス屋だとかインフラ屋さんだとか色んな所をお願いをして、賞味期限切れてないけれどもギリギリ、ギリギリな所だとか、若干割れたおせんべいだとか、ちょっと形が揃ってないとか、それはわーっと詰めて千円。

○事務局

もったいない市ですね。

○会長

もったいない市です。それをやったらもうもうもうもうオープンする前から並んで、もう大変なんです。で、見てたら確か千円だあれだけもらうんだったら私も並びたいぐらいものであります。で、そう言った様なのがはどうなのか別にして、子ども達にとったら食べ物からこの割れても形がちょっと不揃いでも味が変わらないのに、綺麗なものは高く売ってやっていく。それをお店も食品会社も考えた。イメージが悪くなったらどうなるのかあったかもしれないけれども、それを全部協力してやって行く事になったら人が増えたら自然工作する所もどんだり拾って来て何とかやる所も、もうみんないっぱいみんな喜んでました。何が言いたいかと言うと1番最初が勉強会みたいなものになるかもしれないけれども、やっぱり子ども達の心揺さぶってやって行くには遊び心と食べ物見る物何とか物の中から勉強が出来ました。と言うのは私はこちらが1番の所でアウトリーチとして大人のお勉強と学校教育として子どものお勉強と言う事を1番走りの最初に出してると言うのは、

やっぱりみんなの心掴んでじゃあやろうかと言う事を揺さぶるものとしてこのセミナーなりフェアなり名前はちょっと上手く皆さんの知恵で付けて頂いて、若干ちょっと踏ん張って考えるのがひとつの手かな。で、今年は最初だから無理だとしたら、まあまあまあと言う感じでやってって来年、本番であるとするもの手ですし。だから県に任せるのではなくって名張が主催やるんだって感じで協力しろよと言う感じにしたら、城出さんとか西田さんとかみんな良い人達だから。うん。しかも先生がそう言うんだって言う風に言って下さい。そしたら多分もうこれはちょっと目の色変えて協力してくれると思うんで、ちょっと1回ちょっとふんどし使ってやってみるのもひとつの手だと思うんですがどうでしょう。で、名張市役所にはまたあれがあるじゃないですか。急速充電させるようなもの。私は名張は聞いてないんです。伊勢市だけしか聞いてなかったんで、もう名張1番分かってきてるんだと言う風に思っているんで、それもちょっとPRをしてやって行く。もう全規模行く。電気自動車とかあっても良いし、市民の皆さんの力も借りていっぺんちょっとやってみるのは私達も協力するからどうでしょうかね。うん。で、その辺も含めて皆さんこの市町における省エネセミナーについて。で、それから3と5を踏まえて6のその他の所で何か皆さんのご意見を頂いて、ひとつでも実施出来る様にして行きたいなと思っておりますがどうでしょう。

○委員

それじゃあ僕。子どもさんネタでいきますとね、これも本当はもう既にいっぱい始まってんねけど、人が参加してくれる人が少ない少ないっちゃうて悩んでるうちの川の会のメンバーが、川の会ではなくてコープ三重で、主催で今度7月21日に、比奈知、比奈知のあれは橋はなんて言うんやった。サロンパスの368のどこ。まあ、あの辺や。あの橋の下で10時からリバーウォッチングと言う部会をやります。これももう十数年あるねけどあんまり人が少なくなってもう今年でやめにするかとか言うてましたけど。朴さん、ワクシマさんです。ワクシマさんがやってるねけども、奈良からね、タニコウゾウさんって水辺の生き物、とんぼ喋りでしたらもうめちやくちゃ子どもに人気の面白いおっちゃん。おっちゃんって先生やけど、講師できはるんで、これもうちょっとぜひ相談、広報してもらって良いなあって言う風に。広報して良いかっちゃうたら絶対そなん言うてもめちやくちゃ来やへんから言うてもうたら良いねんって言うてました。後で電話言いますけど、コープ三重の伊賀センターに0120って電話出来て、それでここで問い合わせしてもうたらいけるっちゃうのが子どもネタで現場に行くやつありますね。

○会長

うん。7月21日。ほんで子どもさん達が現場へ行くって言う話から出たんで言うと宮本博物館で。

○会長

そうです。私もそう思った。

○委員

だからそれもちよっと手を挙げようかと思ってた。先ほど先生の方から学校での環境教育って言う事で私らが今受け入れてる側から言わせてもらおうとね、非常にもう進んでるんですよ。で、特になばり学と言う教科書を作って、今小中学校がまだもう1度中学校でもうひとつ新しいのが出来ます。

○会長

なばり学良いねえ。

○委員

今年が施行で来年から本格的に。

○会長

なばり学良いじゃないですか。

○委員

既に5月6月で名張市が小学校が8校、滝へ来てくれるんですって。天然記念物で。もう出来次第1年か2年かで、ほんで学校で、学校の教室で教習、学科があつて。ほんでやっぱり赤目っちゅうのがちょっと多いんですね。その色んなねえ、産業やら色んな勉強していくんやけど自然の中のところで滝が多いと。ほんで、もう既に来てくれてます。ほんで、我々もね、今までどんどんもうNPOになってからどんどんそういう活動もしてますけども、特に学校教育現場からそういう事になってきたんでもっともっと我々頑張らなあかんよって言う様な事で、滝フレンドとか滝フレンドって言うボランティアの人らも去年募集して、で、20人若い人から10代から70代まで、その人らに今、学校どんどん来たらばつと並びに行ったら7班に分けて、7人つけてみたいな事もやったり、すると非常に子どもら滝出て行く時にやっぱり水綺麗やったら、さんちゃん、サンショウウオが可愛かった。それからまあなんやこうやと言うて帰ってくれる事がまずね、環境の教育の最初のほんまに始まりみたいななつとるんで、またね、その子ら感性で色んな事をそのね、3年生の子がね、今、来てくれてます。

○会長

で、移動するのはどう言う様な。

○委員

移動はね、非常に良いシステムになって名張市さんがバスを2台運用してくれてあるので、今までみたいに行こうかな思っても行けへんって言う事はまあ非常にね、少なくなった様に。

○委員

その中でも下らないんです。ないことはないんですけど、今年初めてね。初めてなのでですが、もう教科書でふるさと学習なばり学って言う副読本を作って、それも教師や色んな方がね、参画してテキストにしてるんです。それを今年は試行で来年1年生から4年生まで本格実施。今度、もうひとつ小学校の5、6年生と中学校3年生までの小中一貫的な形で上と下の教科書を作る、副読本を作ってやってる中に赤目滝は3年生の教材として位置づいてるんです。で、本校ももう行かせてもらいました。と言いますのは、前、私も錦生赤目小に在籍してた時は路線バス使ってね。それでも路線バスを使って行かないといけなかったんですが、市全体の取り組みの中でスクールバスも用意してもらってるんです。ただまあ、錦生赤目小の登下校の時間帯以外にしか使えないので、短時間なんですけれども行かせてもらっても。ですが、その中でバスも予約して市の方で調整もしてもらって、で、まあ何月何日は桔梗とか東小とかね、決めて頂いた中で行かせてもらって帰って来た子どもや職員の感想ではやっぱりボランティアさんと言うか、皆さん小グループに分かれて説明をして下さるので大変良かったと言う事が書いてあったと申し上げます。

○委員

ただね、時間がね、短いんですよ。

○委員

そうなんです。そこが課題なんです。

○委員

で、我々も準備している事が全部ね、子どもにも伝えられへん。で、せっかくやったら、先生、せっかくやからね。まあその登下校のバスのあれもあるでしょうけども、やっぱりお弁当持って来て、昔の遠足ですね。そうやって子どもらもちよつともうちよつとこうゆとり、時間持って溪谷へ入ってもうたり、ほんでおっちゃんおばちゃんのそう言う生き物の話聞いたり、苦労話聞いたり、まあ3年生に合わせてですよ。まあそんな事をせっかくですからもうちよつと最低限。

○委員

現場はね、その事を希望してまして、この間もそのなばり学の子ども交流会の中でも、本来せっかく行かせてもらうんだったら時間かけて勉強したいと。ただまあそのバスのチャー

ターのかたがあつて、そしたらその予算の事でね、お金の事が関係してくるので、考え今後検討してもらったり片道だけ、で、片道は実費出してもらうとかしなければいけないのかな。実際そこら辺はどうしたら良いのかなって現場も課題には思っています。ただまあ今、各校行かせてもらえる様になったって言うのが、やっぱり近い所の学校さんだけじゃなくってって言う部分では、名張の良さを知ってのが名張を愛する事って言う感じで、やっぱり綺麗な水をね。先ほどおっしゃって頂いたみたいに体感する事が大事だと思っています。なので、今。

○会長

大体何時間コースになる。行き帰りまで。

○委員

もうねえ、行って帰る。午前中なんです。とにかく給食を食べに帰ってと言うわけないので。

○委員

そうそう。給食食べに帰らんなので1時間だけです。

○委員

そうですね。で、給食もそれでもね。遅くしてるんです。いつもより調理員に片付け遅くなくても良い様に。それからこんな事言ううちの学校の中、うちわなもんですが高学年の子がもう3年生帰って来たらすぐ給食食べれる様に配膳して待ってて、なるべく時間しっかり勉強して帰って来て、お帰り、ほんだからどうぞって食べれる様にとか工夫はしてるんですけど。うん。そうなんですよ。ないの工夫もあるんですが、予算的な事とか、また今試行なので今後へ向けて改善してもらえたらとは思いますが。まあそれ小学校はね、だから環境教育も色んな本当に分野があるんですが、そう言う自然に触れる部分であるとか、昨日でしたかね。4年生はエコサービス21さんって、伊賀南部の委託を受けてる廃品、ゴミを回収する仕事されてる方に来て頂いたら車4台来てくれてゴミ収集車2台、小さいのと大きいのと2台ずつ。で、8人の職員さん来てくれていっぱい説明してくれて体験もさせてもらって、教育現場の中で教育課程の中で出来る範囲の中での子ども達への働きかけはしてますし、学校教育色々まだ他にもありますけど。ただ何て言うんでしょう。それをここで言うたらやっぱり家庭へかえしたいと思って参観日に行って、環境教育のそのゴミの回収なんかの事を今年の4年生は参観日に行って、その後おうちのゴミ持って来てその体験学習してって言う様な、またそれを家庭中心の中でかえしていこうと言う風な事はしています。それ多分各校色んな形で少しずつ内容違ってもしてもらってると思うんですが、先ほど言って頂いた様な何かこう催し物的な部分をして頂くと、恐らくとっても環境に興味ある方がやっぱり行かれるけど、中々ごみをおうちの人にもほかに欲しいと思わないご家庭

の方が行かれるかどうかまでの現場の苦しみと言うか、そういう所の課題はあるんですけど、でも色々な各ことで環境にこう何て言うんですか。曜日も考えてですけど、入れて頂いたら参加したいと思うおうちはたくさんあるだろうと。先ほどのイベントの様に名張の教育フォーラムなどかの科学風な体験とか。

○会長

教育フォーラムと言うのがあるんですか。

○委員

はい。ただこの祭典の様な形でやられてる部分なんかの参加率も高いと言う。教育フォーラムは11月で、もう教育委員会主催であげて。

○会長

それ何人ぐらい。結構来ますか。

○委員

多分参加率、何人だとかは分からない。ごめんなさい。

○会長

結構参加するのでしょうか。

○委員

そうです。多いと思います。で、科学の祭典なんかでも何百人かは来てると思うんですが、まあフォーラムでは去年では食教育の事をしてきましたけど、だからそれは何て言うんですか。テーマ、テーマでね、市の中であったりブース、ブース、それこそ先ほど言われたみたいに違うので、ですがまあ学校は一貫してまあ色々な教育があるので、環境教育、食教育、色々な教育ある中で、まあ計画立てながらやっていると言う状況ですが、市の方でそうやって力入れてもらってる事があれば、まあ見たら良いですよって言う同市なんかはね、させてもらえるでしょうし、各校でもされると思うんです。

○会長

なるほど。

○委員

こう言うのではなくて各校でしてる事は言えるですけどね。例えば今年うちの学校は9月に環境教育の事でミヤマカメンさんって言う環境、カブトムシとかクワガタとか何かその

虫の事で環境の事をされてる方が来てくれて子どもと大人の方、ちょっとバックに入ってもらってる団体さんと一緒にコラボと言う形でさせてもらおうんですけど。でも市をあげて何かやっていますって言うのをアピールするのはまだまだですね。各ブースのところでやるんですけど、今お考え頂いてるので、多分協力してやったら良いなとは思わせてもらいます。

○会長

いっぺんには全部何でもかんでも出来ると言うのはあれで。さっき8千人までいったのも10年ぐらいまあ試行錯誤やっっていながらやって行くものなので、せっかく今回、県とも一緒にやって行く。ただ教育委員会とかそういう所ではないにしても、環境生活後の温暖化対策室かと、で、そういう所で例えば今回はLEDに話がしたいとかなんと向こうは向こうのまた何かのあれがあるんだろうと思うんで、もしそれをうまく利用してをこうやっていて、で、とりあえずスタートが大事なんです。たって起きてちょっと次はこの手は、次はこの手が次は子どもを次はもうみんなとか、或いは企業とか何か、そういう感じでちょっとまあ少なくとも1年目、3年目、5年目とかそういうぐらいにして考えると言うのは大事なと言う様に思うんですね。

○委員

テーマと言うか、あった方が。

○委員

すぐ出来る出来へんかは別にしてね。それからまあ県があれやからと言わんと、もう市自前でやろうとか。或いは、いやいや例えば生協さんなんかそんなん言うより自前でやる訳やから。まあほんで自前でやってるやつを市がバックアップしてね、一緒にやるって言うのは何か市民参画でもものすごいええやんと思う。ほんでネタ出しをね、いっぱいしといたら今回はこれ具合悪いけどこんなんって言うのはあるんでね。そのついでるネタは主張しますので、僕さっき里山の話したけど、名張はやっぱ農業景観って言うか農業を思いっきり頑張ってもらわなあかんと思ってます。そういう事から言ったらその昔に名張が朝日町と南町を農地やったんを市街地に変えてしもたんですわ。あれでもう名張はもう滅茶苦茶になった。景色が滅茶苦茶になったと思ってるんやけど、まあまあそんな昔の事ばっか言うてもしやあないけど、農業ね。日本の自然は田んぼが作ったって言う論を言うてる男がおりまして、宇根ユタカさんって言うんですが、これペンネームやないねけど宇根ユタカって言う。宇根ユタカって男がおりましてね。九州福岡二条町って言うところで、10年間かけて田んぼに生きてる生き物全部調べ上げた。5668種やとこのリスト作ったと言う事なんです。

○会長

素晴らしい。

○委員

ほんで男これ出して何て言うたかって言ったら、これ環境省の仕事やろと。これNPOでやらなんのかって腹立ちながら、原価で売って採算採れてへんですね。福岡県の農業改良復旧委員やってんけど、農業改良復旧委員が役所でも一切農民とは百姓って言うんです。百姓がいやしいせんしょうではなくて百の仕事出来る男やって言うて、言った男がいるんですが、日本の自然は田んぼが作った。例えばご飯1杯は稲株3株でオタマジヤクシ35匹養える環境持ってる。で、男が追いまして、この男は交通費と報償はいらんかな。うちで酒飲ませたら来るかなって言う様な人がいるんで、これをね、男山さん、そうそうしどうさばくところ農業はすごい良い農業してるかって精神やし、あの辺と組んでね、やれたら良いなあと言うネタを、ちょっと今日、思ってるんですが。

○会長

なるほど。私はちょっとうちの学科等で日本の水田はラムサール条約に全部登録出来るのほど素晴らしいんですよ。で、自分の官僚がラムサールさえあれば人間が入っちゃったからと妙な考え方持って、今だにそれから抜けられなくて、ラムサールによって湿地を保存すると言うのは釧路湿原みたいに熊とキタキツネだけがウロチョロして人間はだめみたいな事するから問題になるんですが、2008年から変わったんですよ。人が一緒に中に入ってどう言う共生をやっていくのか。そこで日本の水田の例が出たんですよ。で、水田がラムサール条約に入る対象地域なんです。だから日本は全部ラムサールになっても良いぐらい。そうなのに、いやーと手をあげてやってるのは韓国と中国、それと東南アジア。日本はね、その何でああいう所に変えようとしないの。2008年から発想がが一つと変わっているのにも関わらない。そこをちょっと名張がやって行きたいと思うのと、で、下手にするとこれ農水の系列じゃないかって言う人達もいるんですよ。こう昔の系列で。そこをこうかえす為にSDGs、持続可能な開発の為の目標は何でも出来るんですよ。もう農水、森林も何とかじゃなくやれる人が全部やれば良いんだと言う。それからSDGs、ESDユネスコ、みんなそうなんです、だから気が付いてる所やれば良いんですわ。それでみんな協力してやっけて行く。で、そういう事をひとつせつかく今、皆さんのおかげで市がセミナーやろうと言う様な感じになっているので、これをエネルギーに今なっているんですけども、そのエネルギーと言うのは人間のエネルギーはエネルギーなんですよ。そういう風な感じで、要するにこうやって行くぞとするこのエネルギーがエネルギーじゃないですか。で、それも考えてみると色んなリストとか色んな出来るのをちょっと見て、今回はこれ、次はこれと言う感じでやっけて行きましようと言う感じで、ちょっとこう見当もつく話をして頂いて、まあ秋頃には1回ちょっとやってみましようと言う感じにし、対象と場所とテーマはどう言う風にしていくのかと言った話をさせて頂いて、私たちにもちょっと教えて頂ければ、私たちも参加すれ

ば良いじゃないですか。で、参加をして仲間を作って、で、時に我々が何してるのかと言うのを、ちょっと置いといて閲覧して見せて見てもらって、で、子ども達も喜ぶ様な漫画とかがあったらあれやって、それから気くばり心くばり、こう言った我々のキャッチは濃い意味なんだよと言うのをちょっと清水さんとちょっと説明したり、そう言う感じでうちも一緒になってやって行く事やって行くと、審議会で机の上で難しい事ばかり考えて何も地元の声を反映してないねと言う事じゃないよ。そう言う風に使う為に、私すごく嬉しかったのは名張市も職員も変わった。良い意味で。こう言う提案する人今までなかったよ。なかったですよ。何々について何々について報告あったけど、まだアバウトな段階なんだけども、県と一緒にやって行くよと言う様な事を始めてじゃありません。多分、こう言う提案は初めてだと思うんで。

○委員

もうひとつ言うときますとね、今日、田中さん欠席って聞いたんは欠席の人に欠席裁判風にプレッシャーをかけようと思うんです。

○会長

何でしょう。

○委員

さっき言うてましたけど竹林のセミナーを。

○会長

田中さんがやって頂けるんですか。

○委員

木津上でやったらどうやと言うのを提案しようかと思ってるんですね。たけのこって一番喋れるなあと思ってるのが、僕が思ってる学者がいてましてね。忙しいけど行っても良いわっちゅうて言うてるんで。

○会長

仕事はね、忙しいって言っただめなんです。暇じゃだめ。暇な人は。

○委員

ちょっと引っ張って来て喋らしたらどうやと。

○会長

じゃあ大きな何百人何十人ぐらいものばかりじゃなくって小っちゃいものでも12345ここ出来る所であって。

○委員

僕それやったらもっとね。

○会長

いやねちょっとさんちゃんにも会いに行って、大人も行っても良いです。私もさんちゃん見たい。

○委員

本当の底辺の話ですけどね、まあ福廣さんが今、景色の問題かなり言われたんで、団地とかね。私もう赤目に住んでるんです。平成1年に赤目の田園景色が好きで、まあ滝の話じゃ、滝からちょっと離れて村の話ですけどね。景観本当にね、私平成1年から30年で変わったのが、今言われた田園の風景。そしたら皆さんご存知の様に獣がどんどん山から下りて来ます。もう本当に老体にむち打ってみんなが区で張ってこの様にイノシシやシカが網をしました。あの網、あと10年したら誰が補修出来ますか。人おりません。錆びた鉄格子、まず。で、次に何かもう農業出来ない家庭ばかりになってきて後継者いないから、いっぱいファームとか株式会社の農業が入ってきた。すると今までは農家の人ちゅうのは田んぼも水の管理も景色も考えながら田んぼちゅうのはみんながしてたんが、もう大型機械が入って来て赤目の景観、もう言葉で言うとぐちゃぐちゃとなっていました。

○会長

経営してるから。

○委員

きれいにみんなが夕方蚊に刺されながらも草刈ってた。おばちゃん草刈ってたのに、もうそのまんま。ただ稲を作るのに借りた田んぼ。もうそう言う。それからもっと私の赤目の上出と言う龍神山の麓の山麓のこの空地に、今、ソーラーがどんどんどんどん入って来ます。

○会長

あー、入って来ます。

○委員

で、それがメガソーラーで一箇所にどーんとね、あっこの上野のね、ゆめが丘みたいにあん

なんなら良いんですけども、所々にね、あれが始まって来ると、もうピカピカピカピカ、ガラスも目がくらんで落ちてくる様な話も聞いて。すると近所の人がどうも夜ものすごく音がする。何かちょっと気持ち悪いなあ。周波数があるのかな。低周波数が。

○委員

あ、低周波。

○委員

と言う所で健康にもこれ何や。で、あれも今言うた様な網の檻になってくると一緒に後にあれがどうなるのかなっちゅうたら、割れたソーラーの錆びた足の斜めのこんな鉄みたいな屑が散乱されていくのかな。まあ今言われた団地でもどんどんねえ。空地、空き家になっていって、10年ぐらい前に団地どんどん出来てきた時も名張も恐らく人口減っていくから各団地にガラスの割れた廃屋の家がいわゆるゴーストタウンになると言うのを言うた人がおったんです。もう正にそれが始まってきてます。で、もうそう言う名張がなんか今、福廣さん言われた景色が悪いて言うね、本当に景観の。

○会長

景色が良いから。

○委員

景観の良い自然体のもって言うてるのに、よそから来た人がインバウンドが、ええ、聞いた話と違うなあ。何これ。みたいなイメージになると、言う所ですぐにはこれ改善出来へんけど、このセミナーのどこへ持っていきますとね、これ立派な先生来て、それするのも良いですけども、各地区でね、本当に今困っている事、本当にもうその田んぼの事も困ってる。ソーラーが来ていっぱいいっぱいもう、で、まだちょっとお年寄りの人が滝川にごみ捨ててるみたいな言うたいんです。せやけどみんな良い関係で村の人っちゅうのは良い関係やもんで、悲しいかな、言われへんのです。それを何かまちづくりとか色んなところで小さくみんなで考える事をして、そして問題点出してせやな、せやな、って子どもも入ってくる。せやでおじいちゃんおばあちゃんそんな川へごみ放ったらあかんねんどか、もうあのソーラーいらんなあとか言う様なみんながこう地域で本当に小さな集まりで

○委員

現代版桃太郎の様な。

○委員

うん。言い出した事をまた市とか県とかと、そしたらそうやねえ、一番大事やなと言う所の

発掘から始まって、ちょっとこう底辺の話ですけどね、もうそんなじゃなかったらね、やっぱり中々、要はまあ10年後20年後でも良いんですよ。元に戻っていく。ちょっとでもね。戻りたいなあと言う。

○委員

ソーラーだけについて言うたらな、前回のあれではやっぱり再生エネルギー中心って言うのは良いけども、あいつは景色の問題あるから扱いは難しいなあと言う話やったんです。

○委員

屋根へ乗せてもらう分にはね、自分とこのもんやしちょっと高い所やから良いんやけど、あの空地へね、あれがどんどん入ってくると里でも本当に景観見事に悪いのと、それから今言う様にそのあれがどうなんのかわちゅうて色んな副産物ですね。

○委員

それで言うたらな、今、さっき言うた宇根ユタカはどんな事やってたか。ただの風景の写真集の募集。普通の昔やったら風景のコンクールをやろうと言う様な。

○会長

いわゆる原風景の。

○委員

その面白い景色と違って、そんな事やっておると。

○委員

何もない景色。

○委員

宇根さんって、でも20年ぐらい前に名張で講演会して下さいましたよね。私、主催でシンポジウムさせてもらった時の講師が宇根ユタカ。

○委員

そうです。

○委員

それこそ川上さんと福廣さんのご紹介で福岡県から来て頂いて。

○委員

そうやったっけ。

○委員

そうです。

○会長

何、何、紹介した人忘れてる訳。

○委員

よく知ってるから。

○委員

すごい面白いお話聞けて、同じ県職員とは思えへん様な魅力的なチャーミングな方でした。

○委員

虫見板。この下敷き作ってね、稲にぼんと当たってここに虫何匹おるわという中で、ほんで良い虫と悪い虫と、ほとんどの虫はただの虫やと。ほんで虫をペケにして農薬入れるのやめようと言う減農薬みたいなん始めた男やけども。

○委員

もうひとつの下敷きみたいなのある。

○委員

これね、あとお見せします。

○委員

それ子どもさん喜びそうな。

○会長

生き物のあれ。

○委員

さっき言うた稲がみつつ3株あったオタマジャクシ35匹がいる環境を作れるって言う。

○委員

多分E S Dの研究会か何か行った時か何か教えてもらった。

○会長

色んなのあるんだ。やっぱりねえ。

○委員

これ何かそう言う、薦原の子ども達の事を聞いた時かな。頂いた様な気がします。

○委員

で、あとこれ置いときます。さっき言いましたタケオさんがこの間ナバリエで喋った話。それから「おだやかな革命」でこいつは今、一般館でちょっと上映中なんで、ちょっとお金掛かるか分からんけども、まあ時間経ってやっても良いし、まあ交渉したら出来るかも分からんけどね。

○会長

ドキュメンタリーみたいな映画でしょ。

○委員

ドキュメンタリーの映画ですね。

○会長

なるほどね。

○委員

映画でそのこの裏で大体どこのプロジェクトがあると言うのも書いてます。見やすい映画で。大体上手くいったら。カタヨシさんとこあたりする。

○会長

じゃあそうしたらこれちょっと名前はと言う風にするかちょっと考えるけれども、県とちょっと交渉して頂いて、まあテーマは今、言った様な感じ。ただまだ県が縦割りでこれが農水かもとか、うちはカバー出来ないとか、もう色んなのあるのかもしれないんですよ。で、まあ相手がある事だからあんまり最初から無理を言ってガンガンやるのはあれだから、とりあえずまず1回やらせて、いやー、市と県が良い企画してるね。良いねえ。と言う様な感じでちょっとやっけて行く事を秋にちょっと考えて頂きたいと言うのを思っていますね。で、まあ例えば小さい公民館でも良いかもしれない。自治会でも良いし学校でも良いんですけども、こっちとしては1回みんながこう、いやこう言う何かがあるんですって言う事を

集中して頂いて、ある程度参加する人を見込むと言う事もひとつの手だと思うんですよ。例えば100人なら100人、200人なら200人になる場所が確保出来るのであれば、そこにこのこう言う様なテーマで第1回目の何かのセミナー何かやるので参加して下さいねと言う事を、自治会なりの所の回覧板でも何でも広報を通じてアナウンスをして頂いて1回やってみるのは良いんじゃないでしょうか。で、土、日曜日でやって行くんだったらちょっと子どもをターゲットにしていくのもひとつの手だと思いますし、いやあちょっと子どもはまだ手におえないからと言う事であるならば、平日も良いかもしれないけれども、やはりやっぱり子どもって分かるんですよ。賢いのよ。うん。で、良い感じで促してやれば、本当にもうすごい子になるので、私はこれからのこう名張の為に世代間のギャップの埋める為に子どもと年寄りとの接点が出るものの、こう言った様な環境セミナーなら何かで一緒にやっていくと言う事がこれから厳しい名張だからこそ、考えらるものじゃないかなと言う気がしますね。若い人は茶化す会で大きな間違ったらともかく。うん。そう言う意味では難しい事を考えずにとりあえずみんなでもうちょっとコミュニケーション取ろうかと言うぐらいのもので、で、テーマはまあエネルギーなんだと言えば、テーマは景観なんだ、テーマは何なんだと言う風な感じでやっていく。で、ちょっと映画もあるしトークもあるしお勉強もあるし、まあそう言う風な感じで2時間以内で出来る様なものをちょっと考える。うん。で、せっかく集まったんだったら1時間で全てをさっさと終わるのはちょっと寂しい様な感じがしますね。それとNPOとか色んな方がパネルとか、まあ色んな形でちょっと展示をして、うちはこれやってるよ、やってるよと言う事をPRする様な場所を提供するのも良いんじゃないでしょうか。うん。例えば先生の学校で赤目行きました。良かった。ご飯食べた。とか、例えばそう言う様な写真とかでも、子どものこう何か報告書みたいなものを、こう見学の、そう言うのもちょっと。うん。宮本さん、ちょっとおじさん達頑張るぞと言って、でもうみんなプロもいるぞ。アマチュアもいるぞ。みんなでやるぞ。待ってる人一緒にやるぞって、次お弁当持っておいでとかそう言う風に言ってと。うん。なばり学、名張の子ども達が名張の事をみんな分かるんだ。子どもの時からと言う事を。で、会がもってやるぞと言う感じで、うん。だから教育委員会も喜んでうちもやっていくんです。一緒にやりましょうと言う風に言って下さると思うし、ほんのちょっとしたあれでやっている側は大変だと思うんですけども、これだけの委員が力を合わせてやれば、出来るんじゃないでしょうかね。是非とも折角良い提案をして頂いたんでこれにちょっと膨らませた感じになっちゃったんですが、よろしくお願いしますね。で、またぎつくばらんにもうちょっとまあ誘致にあがっているんですけども、何かこれだけはもうちょっとこうやって行きましようと言う様な事等まだありますか。

○委員

もう僕ばかりやけど、この報告書見てもクリーン大作戦ぶわーっといっぱい書いてるねけど。今年は6月に1回あったやつやけど、あれのそもそもの。

○会長

みんな清掃ってしますの。

○委員

みんなで川やその地域で。

○会長

おー、良いですね。名張の人達。

○委員

名張の人達。あれは5月30日に最初始めてゴミ0の日なんです。

○会長

あー、なるほどね。

○委員

昔の川の会のうちのメンバー、彼は外れましたけどの提案やったんです。全市的に広がってるねけど僕の提案なんですけどね。

○会長

なるほど。

○委員

下流に行ってゴミ拾いしたらどうや。

○会長

下流ってどの辺。

○委員

いやまあ、どこを下流と言うのが難しいねけども、あれ拾ってたらね、上から流れてきたやつばっかなんですよ。川のごみ。あっ、ごめんなさい。川のごみ中心に拾ってるんです。

○会長

なるほど。

○委員

ほんで、上から流れてきたやつばっか。ほんでもうあいつら流さんときやと言うぐらいの感じなんやけど、それを先にごめんなさいで下流に行って拾いかけたらその管理の人また下流に行かんとか格好悪くなりますね。全国に広がる事と思ってて。

○会長

なるほど。

○委員

ほんでそれをデータ集めたら川ゴミネットワークと言うのがあって、そのデータをずっと関東ですけども。

○会長

あー、横浜。

○委員

あるでしょ。

○会長

うん。ありますね。

○委員

これはまあ半分冗談で半分真剣で、ある1部隊だけでも例えば上野に行って、ゴミ拾いしに行く。全員行かんでもこれはちょっとひよっとしたら広がる事になるんやないかと言う風に思ってるという事。

○会長

なるほど。川上から川下まで遮るんだ。

○委員

それともう年にもう1回ぐらいはやっても2回で。

○会長

春と秋ぐらい。

○委員

1回やなくて2回ぐらいはやっても良いんや。あんまり多なるとだんだん熱冷めて来ん様になると思うけど、1回ぐらいもう1回ぐらいは。

○事務局

クリーン大作戦は年1回、川も中心でやらしてはもらっておりまして、各地区の地域の美化活動もまとめてを名張クリーン大作戦と言う名称でやっていただいているので、年に何回も実施するとちょっとまた別ものと言う事で考えないといけないかと思えます。

○会長

じゃあまず、名張クリーン何とかと言うのを5月30日とかごみ0の日にやるけども、秋にやれる所までちょっとやってみましょうかと言う感じでは出来ないんですの。例えば、こう花ショウブとか何とかやってるあれは祭りみたいなものいつでしたっけ。

○委員

あれは6月の大体第1週か第2週。

○会長

やっぱりちょっと早いですね。

○委員

今年もそれどんぴしゃに重なったんです。

○会長

なるほどね。

○委員

それと違う話題で椿原先生おっしゃった、ここ僕は絶対自慢して良いと思う、伊賀南部環境衛生組合、抜群ですね。

○会長

あー。

○委員

あの仕事物凄く良い。それに例えばね、50音別のブック作って、ガイドブック作ってるんです。これ捨てるの何やと。ほんまに、えっと思う様な物まで書いてある。

○事務局

あれは名張市が作っています。

○委員

あ、名張市が作って。

○会長

あれはQ&Aみたいなもの。

○委員

その仕事物凄く良いんで。話も良いし尋ねていっても物凄く分かりやすいしあれは売りになるなあと思いますね。

○会長

じゃあ色々な良い活動、色々な所みんなあるんで、そこを普段はそれぞれの所でやってるけれども、横にこう繋げる様な形で、例えば名張を挙げての何とかと言う形のもので紹介したりでも良いと思いますし、私ちょっと名張はたまにしか来ないからあれなんですけれども、ひとつ今はSNSの世界じゃないですか。みんな。で、そこに市の、市は自分の学校もそうなんですけれども、こう発信をしたり発信を受けるのは物凄く厳しいセキュリティ、物凄く厳しいじゃないですか。だからそれはそれだとして、まあ厳しい様にして悪い事ではないんですけれど世間がある。で、そういう事ではなく、例えばこの審議会のこう傘の下にあっても良いんですけれども、何か発信を出来る様なデータを集めてそこを発信が出来る様な感じで加工してアップをしていくとか。で、そう言った様な事をこれから各市町、行政考えないといけないけど、日本は物凄く硬いんですよ。何であんなに怖いのか分からないけど、韓国、中国、アメリカ、ヨーロッパ余りにも無防備だと思う程、もうハッキングされるんだと言う風にあっちはなっちゃうんですよ。だからそういう所で見ると来るな来るなと言う風にしていくと物凄く硬くなってもう身動き取れない。良いデータが発信出来ない。私、ユネスコスクールやってるんですけど、例えば何々学校で何々を追っかけて何とかやる、こう、まあ何ともちょっとはつきりは言わない方が良いかもしれないけど、そこを外に発信してあげたいのにやるなって言うんですよ。で、どうしてと言うと、そこの担当の先生やりたいたいけど、教頭の先生によるし、グッとと言う動きがないといけないし、校長の先生が良いよと言わないと絶対発信が出来ない。で、韓国と中国に行くと教室の授業の中にどこからコウエンにいったらば何かがありました。もうお花はちょっと危ないのがありました。何かありました。滑り台がちょっとあれでした。と言う風になってくると、すぐ区長とか市長に先生が直接そこで子ども達がこうやってて映画やったりとかそういったものを、取って、それをそのまま発信をするんですよ。授業の中で。そこを見て自由にしてたらどうなのかなと

学校に見学に行ったら、その先生はやる気満々だけれども、教頭先生、校長先生にいちいち許可できないといけない。そのもう時間がすでにやって1時間2時間3時間良い所で1日経ったのに、ちょっと2日経って3日経っても出来ない。じゃあ先生ツイッターで流したらって言ったら絶対駄目なんですよ。子ども達のあれは。だからもったいないなあ、もったいないああって言う風に思うんですが、ちょっといきなり出来ないんだとしても何かちょっと名張は今、今日出たネタだけでもいっぱいあるじゃないですか。その何かこうアピールするツールはないんですの。名張市でもページはやっぱりみなさんいじくるんじゃなく情報管理の人達が仕切ってやるんですか。ホームページにアップするには。

○事務局

各室でやれる分はページ等の作成を行っています。

○会長

大丈夫なのですね。じゃあだったらアップしてみましようよ。

○委員

リバーウォッチングなんか書いたって欲しいなあっちゅう様な。

○会長

もうその辺は。

○委員

名張市って言うか学校の事は、ちょっとこの環境の事は置いといて学校はホームページをアップしています。

○会長

おっ、良いですね。

○委員

そのだけれどもやっぱり情報セキュリティって言うかやっぱり子どもの顔がばーんと出たり。

○会長

それは駄目ですね。

○委員

顔が出たり名前と顔が一致したりとか、どこの小学校のだれだれまでわかるので後ろ側から子どもがしてるとか、活動の写真を載せるならば気を付けてのセッティングです。

○会長

なるほどね。

○委員

ただまあ職員がするにしても、やはり私達は見せてもらう。管理職がやっぱり見せてもらって、どんな事もありますからね。だから色んなある程度の部分はチェックさせてもらってますけど、ホームページは名張市も各小学校作っていますし、他の。

○会長

じゃあ結構活発に地位、ある程度ちょっと責任と権限も持たせて頂いてるんだ。

○委員

そうですね。

○会長

ありがたいですね。

○事務局

今、ゴミの分別等のページとかでも多くの方から見ていただいています。イベントとかをもしする時は、市も広報する手段にお金掛けられませんので、できるだけホームページとか、そういった所を使って広報等を行っています。何かイベントをしようと思ったら、広報も結構早い目に記事の締切があるので、急なイベントとなるとホームページが有用ですね。

○会長

そうですね。もう2か月前に言って、もう古くなってるものを何で載せるんだみたいな感じで。

○事務局

そうなんです。記事を入れてほしいと言っても中々各部署が紙面に載せたいと言ってくるので、やっぱり紙面が厳しいんですよ。

○会長

分かります、分かります。

○事務局

だからそういう意味でもホームページとかを活用しています。他には、場合によってはフェイスブックとか。

○会長

おー。じゃあそういう形で1回今回どう言う名前になるのか分からないけれども、秋にやっている所の部分に関してはやるぞと言う事も、ちょっとさっきリバーウォッチングもそうなんですけど、やるぞと言う事をまず伝えて頂いてやったぞと言う事を伝えると。ただやるぞと言う風な感じでやっていくと言う。

○事務局

そうですね。

○会長

うん。で、ちょっとこうどこかで変われば良いものは変わるので。

○委員

郷土資料館の企画展なんかも物凄く良いのしてんねけど、ちょっと広報不足やなって感じがして、えーって後から思ってもう終わるわって言う感じ。

○会長

そう言うのあるんですか。

○委員

まあホームページはね、あれアクセスしたら出るんやけども、もうちょっとねえ。IT弱者の人もいてるから。

○事務局

そうですね。あれも記事提供とかで投げ込みするんですけど、記者さんが興味持ってもらわないと新聞にも掲載されないわけで。やっぱり新聞が一番動きが良いんですけどね。

○会長

良いよ。ケーブルテレビはないんですけど。

○事務局

ああ、それもだから情報提供するんですけど、ただそれ食いつくかどうかはもう各社さんに寄ってしまいます。

○会長

分かります。

○事務局

後その時の新聞のネタが、優先順位でこう決まってくるんであると思うんですけど。

○会長

もうひっきりなしに送りましょうか。もうやるから、やるからと言って。載せるまで。うん。分かりますね。じゃあそうしたらね、今日は元々、今日何かを決めると言う所ではなくて非常にやりやすい、こう事を企画して下さったんで本当に感謝していますし、皆様の力で前向きな前向きな色んな意見が出てきてると思います。で、そういう事でここで承認と言うか、こう承認をしなきゃならないものがありましたっけ。こうA B C Dと言う。

○事務局

本日は報告です。

○会長

だけでよろしいですか。

○事務局

承認と言う事は必要ない。

○会長

なくて大丈夫ですか。

○事務局

はい。

○会長

はい。じゃあそうしたら今日は報告事項、ずーっとなっております。で、まずは第3次名張快適環境プランの達成状況と実施報告がありました。それから地球温暖化対策実行計画の事務事業編と名張市のEMSの改定についての報告がありました。それと4番目においては報告プラス、まあご意見を頂いてこれからやっていくものになっていく。市町における

省エネセミナーについて、これがどう言う形で名前になっていくのかは、これから考える事になるけれども、秋を目途にして1点花火上げてみましようと言う事になりました。で、その他においては色んな情報提供をして頂いて、なばり学と言う素晴らしいこれをみんなが学んで成長していく。そう言った様な部分において、もうあらゆる手段を使って今やっていく事だと思うんですが、これからも環境を狭く捉えるのではなくて、広く捉えて、どんな事していくと言う事になったと思いますけれども、これで第1回目の名張市の快適環境審議会はそろそろ終わりになると思いますが、皆さん何か最後に私の今のまとめでちょっと訂正があったり、或いは忘れたと言う事があったらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

○委員

市民向けセミナーが実施出来たら、僕さつき良いなと言った様な職員さんも是非担当の職員さんが1人行くのと違って、職員研修と一緒にぐらゐの感じで出てもらおうと、同じ課題を共有出来ると思うんで、これはもう是非職員さんも一緒に出て、市民向け、市民さんだけやなしに、これは是非お願いしときたいですね。

○会長

で、大きなムーブメント変えましょう。昔ながらの審議会しゃんしゃんと言う事は一切しません。まあそんな場面の審議会だったら私参加しません。で、そういう事を多分皆様覚悟の上で、こうしてして、みんなをまとめてらっしゃると思うんで、まあ行きつつ戻りつつがあるのかもしれないけれども、やはり熱意のある色んな人達が1人2人でも多く集まって、議論をして、そこをまだこう良いよって言ってくれる、まあ市民を増やして行って顔が見える政策展開をしないと、昔の様に絵に描いた餅だけでは全然駄目。で、そういう事をこっちは1番最高位にある市の総合計画が今年で終わると言う事は分かっているので、それはそういう風に我々のムーブメント動く日をちょっと揺さぶっていくのか、ここにもうちょっとマッチングしてみたいなと言う様に思っていますので、そこやっぱりテンポにある環境基本計画がどんなに頑張っても1番最高位にある所の部分でタッチが弱かったり、ほとんどもう書いて書いてない様なものでやってるんだとすれば、身動きが我々より皆様そうじゃないんですよ。その部分をやりやすくしていく為に、我々の提案って言うものをどんどん具体化してやっていきますので、これからちょっと大変かもしれないけど、楽しくやって行きましょう。本当に今日はありがとうございました。

○全員

ありがとうございました。